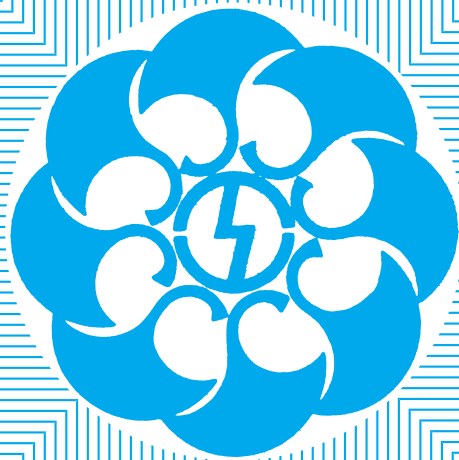


会報



社団法人 神奈川県空調衛生工業会

第106号



目 次

新年のごあいさつ	会 長 川本 守彦	1
新年のごあいさつ	神奈川県知事 松沢 成文	2
新年のごあいさつ	横浜市 市長 林 文子	3
新年のごあいさつ	川崎市 市長 阿部 孝夫	4
平成22年新年賀詞交換会		5
定例理事会議事報告（11月・12月・1月）		7
平成21年度 講演会「神奈川発!! 地球にいいこと、ひとつずつ」開催	技術委員会	8
横浜市まちづくり調整局平成21年度合同安全パトロール	安全委員会	9
会員消息		14
編集後記		14



新年のごあいさつ

会 長 川 本 守 彦

平成22年の新春を迎え 謹んでお慶び申し上げます。

日本経済は、最悪期を脱して持ち直しの動きが強まってはいるものの、雇用・所得環境は依然として厳しく、デフレの進行と不安定な円相場の影響、さらには新政権下での市場も先行きの不透明感を煽り、二番底が懸念されるなど閉塞感を打開しきれない状況です。建設業界では、公共工事の大幅な縮減・民間設備投資の抑制等により、受注環境は長期にわたり低迷し、その疲弊の度合いは深刻さを増すばかりの状況であります。

こうした大変厳しい状況下ですが、深刻化する地球温暖化防止へ向けての議論が世界的にも高まっています。私たちの業界は、低炭素社会づくりに向けての先導役として重要な役割を担い、そしてまた、社会・地域からの期待も絶大であります。環境保全・省エネルギーを推進し社会・地域に貢献してきた業界として、低炭素社会づくり実現への期待がさらに高まる中、それをビジネスチャンスと捉え、更なる技術力の維持・向上と技術革新に努め、新しい需要を積極的に発掘していく努力が必要です。

そして、空調衛生設備を安全に高い品質で提供するためにも、直接的に顧客との接点をもつ機会を増やしていくことが重要です。即ち、機能・品質を確保し、コストの透明性・施工責任を明確にできる顧客ニーズにとって最適の仕組みである直接発注（分離発注）を強くアピールし、総合環境設備工事業界としての独自性と地位の確立を目指すことが大切です。さらに、技術者・技能者の地位向上に努め、当業界の人々が生き生きと働くことができるように、そして、

新たな人材の流入につながるように業界全体として努力していかなければならないと思います。

私たちはこれまで社会資本の整備を通して社会・地域に貢献してきた業界・企業だという自信と誇りを持ち続け、社会的責任を果たしさらなる社会的信用を得るためにも、経営力・技術力をさらに向上させるためのたゆまぬ自助努力を怠ってはならないと考えます。

工業会として、会員企業の経営体質の強化、厳しい状況下での工事量確保（インセンティブの充実）、技術講習会・研修見学会、技術者の資質向上、安全パトロールの実施等に積極的に取り組んでまいりたいと思います。

最後に会員の皆様とこの難局を乗り越えていく決意と行動を期待し、年頭のご挨拶といたします。





新年のごあいさつ

「安心と先進！ 神奈川から未来につながる確かな一歩を」

神奈川県知事 松 沢 成 文

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、新たな抱負や願いを胸に新春を迎えられたことと存じます。年頭に当たり、皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。

去年は、経済・雇用情勢の低迷や新型インフルエンザの流行、政権交代、県内では相模原市の政令指定都市への移行決定など、社会経済のあらゆる面で大きな「動き」や「変化」が見られた一年でした。

県では、こうした社会経済の動向に対応しながら、生き生きと心豊かにくらす地域社会の実現を目指し、さまざまな施策を推進しています。

喫緊の課題への対応としては、これまでに数次にわたる緊急経済対策を実施し、現在も中小企業制度融資の充実や国の基金を活用した雇用創出事業など、総額3,000億円を超える大規模な経済・雇用対策に全力を挙げて取り組んでいます。また、新型インフルエンザ対策としては、大流行による供給不足に備えるための抗インフルエンザウイルス薬の備蓄や、ワクチン接種体制の整備などに取り組んでいるところです。今後、こうした喫緊の課題に対しては、時機を失することなく、皆様の安心を支えるための対策を着実に進めてまいります。

一方で、神奈川の未来を見据えた、先進的な施策も積極的に推進してまいります。

保健福祉の分野では、全国で初めて制定された「受動喫煙防止条例」の今年4月からの円滑な施行に向け、多くの皆様に条例の趣旨をご理解いただけるよう、普及啓発活動に力を注いでい

ます。また、昨年からは関係市町とともに、海水浴場における喫煙の新たなルール作りに向けた取組みも進めています。安全で美しい、快適な海水浴場の実現を目指して、都道府県初の条例化を進めてまいります。

そして、人類共通の課題である地球温暖化対策に有効である電気自動車（EV）の普及に向けた取組みも、神奈川が全国をリードしています。今年、急速充電器などのインフラ整備や電気バス開発などの取組みにも、さらに力を注いでまいります。

地方分権改革に向けた取組みも一段と加速しつつあります。今こそ神奈川から、未来を展望した力強い政策を提案し、改革をリードしていくことが求められています。去年の八都府県首脳会議では、本県が提案した環境分野における「首都圏広域連合」を設置する方向で合意されました。今後も、神奈川が先頭に立ち、さまざまな改革を推進してまいります。

今年5月には「第61回全国植樹祭」、10月には青年技能者や障害のある方たちが日ごろ職場などで培った技能を競う「技能ルネッサンス！かながわ2010」が、そして11月には「日本APEC首脳会議」が県内で開催され、国内外から多くの方々来県されます。これを機に本県の先進的な政策についても全国に発信してまいります。

今後とも県では、行財政改革とともに「安心」と「先進」の施策を着実に推進することにより、神奈川から未来につながる確かな一歩を踏み出していききたいと思います。皆様には、引き続き、県政への温かいお力添えをお願い申し上げます。



新年のごあいさつ

平成22年の年頭にあたって

横浜市長 林 文子

あけましておめでとうございます。

新しい年を迎え、皆様一人ひとりが健やかに、充実した日々を過ごされるよう、心からお祈り申し上げます。

神奈川県空調衛生工業会の皆様には、大規模地震による災害発生時に、公共建築物の応急措置を行う本市との協定を通じて、市民生活の安全確保に大きく貢献していただき、改めて感謝申し上げます。

さて、景気は思うように回復せず、大変厳しい社会経済情勢がまだ続いています。そういう中にあるからこそ、私は「人の心を大切にすぬくもりのある市政」を着実に実現していきます。そのために、本年も引き続き、「ぬくもりトーク」などで、皆様のごところに伺い「市民の皆様が本当に望んでいることは何か」をしっかりと把握しながら、市政の舵取りをしていきます。私だけではなく、市役所をあげて皆様としっかりコミュニケーションをとり、その中で生まれたアイデアやヒントを大切に、暮らしの安心、充実に向けて取り組んでいくことをお約束いたします。

様々な分野で発揮されている市民ボランティアの皆様エネルギーや、日ごろ、福祉や防災など地域に根を張って活動なさっている市民の皆様の方に、横浜の希望があります。そうした地域の力が一層花開き、横浜に暮らす子どもから高齢者の方まで、「横浜で暮らして良かった」と感じていただけるよう、ご一緒に、愛し愛される横浜をつくっていきましょう。

本年は、10月の羽田空港の国際化、11月のAPEC（アジア太平洋経済協力）首脳会議の横浜開催など国際都市横浜の更なる飛躍が期待される年です。国内外から多くの人々が集まるこの機をとらえ、にぎわいや創造的な取組を更に生み出し、新たなビジネスや雇用機会の創出、企業誘致の促進など市内経済の活性化につなげていきます。

「皆様の暮らしの充実」に何よりも重点を置いて取り組み、あわせて、将来にわたって横浜全体が元気であり続けるための取組も進めていきますので、本年も引き続き、皆様のお力を貸していただきますよう、どうぞよろしく願いいたします。

最後に、神奈川県空調衛生工業会のますますの御発展と、皆様の御健勝をお祈りし、ごあいさつとさせていただきます。





新年のごあいさつ

川崎市長 阿部 孝夫

あけましておめでとうございます。

新年を迎え、皆様の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げますとともに、今年一年が明るい話題の多い、良い年になりますようお願いしております。

私は昨年十月の市長選挙において、三度市民の皆様から信託をいただき、川崎市長としての重責を担わせていただくことになりました。

今年は、羽田空港の国際化や横須賀線武蔵小杉新駅の開業など川崎のポテンシャルが、ますます高まりをみせます。さらに、川崎フロンターレをはじめとしたスポーツや、音楽・芸術など本市の活力と魅力が一層輝きを放つ年となることを期待したいと思います。皆様とともに、愛着と誇りの持てるまちづくりを進めてまいります。

社会経済状況の変化が激しいこの時代において、的確な行財政運営を行い、将来にわたって持続可能な、安心して暮らせる魅力的なまちづくりを進めることが大切であると考えています。

引き続き、「行財政改革の断行」や「新総合計画の着実な推進」、「自治基本条例に基づく市民本位のまちづくり」を3本柱に市政運営を進めながら、市民の皆様が住んでいてよかったと思えるまちづくりに取り組みます。

その実現に向けて、①医療や福祉、子育てや教育など、人が人を支え、大切な命を尊び育む「人間都市」づくり、②暮らしの安全安心や生活

環境の快適性の確保に取り組む「安心快適都市」づくり、③地球温暖化対策を進めるとともに、環境、ライフサイエンス分野の研究開発や福祉産業といった産業を育成するなど、国際社会に貢献し、持続的に発展していく「元気都市」づくり、④中小企業支援や、商店街、農業の振興、雇用の確保などに取り組む「安定持続都市」づくり、⑤地域の資源など特徴と強みを活かした魅力が輝く「オンリーワン都市」づくりを進めてまいります。

魅力が輝き、活力にあふれる日本一の都市づくりを見据え、「新たな飛躍」をめざして、これらの取組に全力を傾注してまいりますので、皆様の御協力をお願いいたします。



平成22年新年賀詞交換会



松沢 成文
神奈川県知事



小松崎 隆
横浜副市長



国吉 一夫
神奈川県議会議長



川口 正寿
横浜市長

当工業会平成22年新年賀詞交換会が1月15日(金)午前11時から、ホテル・ニューグランドで開催されました。

当日は、神奈川県の松沢成文知事、横浜市の小松崎隆副市長、神奈川県議会の国吉一夫議長、横浜市会の川口正寿議長をはじめ、地元選出国會議員、国土交通省・自治体幹部、県議会・市會議員、関係団体幹部等の100余名のご来賓を迎えるなど、当会正会員、賛助会員と合わせて約300名が出席しました。

定刻、司会者の紹介により、主催者を代表して川本守彦会長が挨拶に立ち、本日ご出席のご

来賓各位に対するお礼を述べられた後、「本日は、国会、県会、市会を始め多くの行政の方々にご臨席いただいておりますので、まずもってお願いをしたいと思います。」と述べられ、「今さらここで景況感を論ずるつもりはありません。しかしながら、不透明感漂う中、二番底が懸念されるなど閉塞感を打開しきれない状況の下、雇用対策・不況対策そして地方経済対策は待ったなしの状況であります。我が国経済そして地方経済再生のためには供給側に立った経済政策ではなく、需要側に立った経済政策つまり企業を元気にさせる経済政策を早急に行うしてもら

なければならぬと思います。是非とも内需主導の経済対策を実行していただきたい。そして、なおかつ、民間設備投資言い換えれば民需が立ち上げられない現況下、即効性の高い公共事業言い換えれば官需を、財源を選択・集中しつつ効率と経済波及効果の高いものを厳選して執行し、社会資本整備を進めていただきたいと思います。その時に、中心的な役割を担うのが、我々建設産業であります。建設産業の再生なくして日本経済・地方経済の再生はあり得ません。是非ともよろしく願いいたします。」と述べられ、続けて、「そしてそのためにも前々からお話しさせていただいておりますが、我々は今まで社会資本の整備を通して社会・地域に貢献してきた業界・企業という自信と誇りを持ち続け、社会的責任を十二分に果たし、更なる社会的信用を得るためにも、経営力・技術力を向上させる為の自助努力を怠ってはならないと考えます。そして、我々が主体的に、積極的に現況下での業界・企業のあるべき姿を考え、スピード感を持って諸事に対応していかなければならないと思います。そして、そうすることによって、つまり、自らの責任をきちんと果たすことによって、行政にも市民にも社会的認知を得て業界としての確固たる地位を確立できるものと確信しております。そうすれば必然的に入札契約制度等より良い形のものが目指せると思います。」と述べられ、更に、「昨年、この場で全工業会会員と共に環境保全活動を推進すべく「神奈川!! 地球にいいことひとつずつ」をスローガンとして環境宣言を発信いたしました。本年は、県民・市民を巻き込みながらさらに具体的なアクションを実行していければと考えております。そして、こういった活動を通して、社会的責任を意識した行動に徹するとともに、我々自らがコンプライアンスの一層の浸透を図り、適正工期を確保し、片務性の是正を目指し、品質の確保と適正価格での受注に努めることが極めて重要だと考えております。

最後に本日、ご臨席いただきました皆様方のお力添えをいただきながら、地域づくり、まちづくり、社会づくりに積極的に、能動的に取り組んでいきたいと考えておりますので、なにとぞよろしくお願いいたします」との挨拶がありました。

続いて、ご来賓を代表して、小松崎隆横浜市副市長から、ご祝辞をいただきました。

次に、ご来賓の国会議員等をご紹介の後代表として松本純衆議院議員から、神奈川県議会を代表して国吉一夫県議会議長、横浜市会を代表して川口正寿横浜市会議長から、それぞれご祝辞をいただきました。

また、当会顧問の新堀典彦県議会議員からもご祝辞をいただきました。

続いて、ご来賓の国土交通省関東地方整備局の野崎明宏設備技術対策官をご紹介いたしました。

次いで、ご祝電披露の後、坂山修平(社)日本空調衛生工事業協会専務理事の乾杯のご発声で祝宴に移り、その後、会場に駆けつけていただいた松沢成文神奈川県知事、当会顧問の菅義偉衆議院議員からご祝辞をいただき、ご来賓、正会員、賛助会員の終始和やかな懇談が繰り広げられ、12時35分、中村章副会長の閉会の挨拶をもって、盛会裏のうちにお開きとなりました。



定例理事会議事報告(11月・12月・1月)

11月定例理事会

平成21年11月13日(金)午後2時から第447回定例理事会が開催されました。

その議事事項の要旨は次のとおりです。

1. 平成22年新年賀詞交換会実施計画(案)について

中村副会長から、大橋専務理事に対し、資料の説明が求められました。

専務理事から、配付資料により、当工業会の平成22年新年賀詞交換会実施計画(案)について説明があり、協議の結果、原案のとおり承認されました。

12月定例理事会

平成21年12月11日(金)午後3時から第448回定例理事会が開催されました。

その議事事項の要旨は次のとおりです。

1. 平成22年新年賀詞交換会の運営について

中村副会長兼総務委員会委員長から大橋専務理事に対し、資料の説明が求められました。専務理事から、配付資料により、当工業会の平成22年新年賀詞交換会等開催要領並びに同賀詞交換会当日の役割分担について説明があり、協議の結果、原案のとおり承認されました。

2. 友誼団体等賀詞交換会への出席について

中村副会長から、大橋専務理事に対して、平成22年における友誼団体等の賀詞交換会日程並びに本工業会の出席者(案)について、資料の説明が求められました。

専務理事が配付資料の説明を行い、各団体の出席者について、原案のとおり承認されました。

1月定例理事会

平成22年1月15日(金)午前10時から第449回定例理事会が開催されました。

その議事事項の要旨は次のとおりです。

1. 平成22年新年賀詞交換会の運営について

中村副会長兼総務委員会委員長から、大橋専務理事に対し、資料の説明が求められました。専務理事から、配付資料により、当工業会の平成22年新年賀詞交換会の次第並びに同賀詞交換会の役割分担等について、確認のための説明があり、了承されました。



平成21年度 講演会

「神奈川発!! 地球にいいこと、ひとつずつ」開催

技術委員会



大内 俊英 技術委員長 挨拶

渡辺 保男 講師

(社)神奈川県空調衛生工業会は、平成21年1月に『環境宣言』をおこない『神奈川発!! 地球にいいこと、ひとつずつ』をスローガンに、全会員とともに環境保全活動を推進することを宣言しました。

また、鳩山首相が平成21年9月に国連本部で「温室効果ガスを、2020年までに1990年比で25%削減する」と演説し、日本の新たな数値目標を世界に向けて公約しました。

これら世の中の要求に呼応する形で技術委員会では、平成20年度に『地球を考える。地球にやさしい建物とは』をテーマに横浜市地球温暖化対策事業本部のご協力で講演会を開催しました。

平成21年度技術講演会は、環境宣言スローガン『神奈川発!! 地球にいいこと、ひとつずつ』をテーマとして、神奈川県のご協力にて平成21年11月25日(金)に万国橋会議センターで開催しました。参加者は正会員31名(20社)、賛助会員20名(11社)、講演者他3名、計54名でした。

講演1部は、「地球温暖化の現状と県の取り組み」をテーマに神奈川県環境農政部環境計画課地球温暖化対策班副主幹の渡辺保男氏に講演をしていただきました。講演2部は、企業が取り組む環境対策や環境にやさしい機器等の紹介を行いました。

講演1部

テーマ：「地球温暖化の現状と県の取り組み」

講師：神奈川県環境農政部環境計画課

地球温暖化対策班 副主幹 渡辺保男氏

内容：

- (1) 地球温暖化の現状
- (2) 地球温暖化防止に向けた世界と日本の動き
- (3) 神奈川県の取り組み
 - ①ESCO事業の導入など
 - ②クールネッサンス宣言とリーディングプロジェクト
(電気自動車、住宅用太陽光発電補助など)
 - ③神奈川県地球温暖化対策推進条例
(事業活動温暖化対策計画書制度、中小規模事業者の支援など)
 - ④日常生活、家庭で取り組む温暖化対策

講演2部

企業名	講師名	講演内容
東京電力(株)	矢田部 隆志 氏	空気を利用する業務用建物の地球温暖化対策について
(株)川本製作所	伊藤 弘之 氏	川本製作所のECO&省エネへの取り組み
TOTO(株)	東雲 健児 氏	最新の新型節水大便器について
ダイキン工業(株)	柳田 圭一郎 氏	潜熱・顕熱分離デシカシステムのご提案

これらの講演を通して、我々エネルギーを扱う業界団体として、今後も尚一層の環境に配慮した行動(企業活動として、個人の生活として)に努めなければならないと痛感しました。

(技術委員会T・T記)

横浜市まちづくり調整局 平成21年度合同安全パトロール 安全委員会

1. 総 評

第39回横浜市公共建築工事安全パトロール（平成21年度）は、11月11日(水)に横浜市発注の7現場（請負数7）について

- ①墜落、転落、建設機械、土砂崩壊、第三者災害防止への措置
- ②労働衛生管理（酸欠、粉塵、有機溶剤等に関する管理状況）
- ③建設産業廃棄物分別収集の実施（G30推進運動への協力）

上記3項目を重点点検項目とし、安全パトロールチェックリストをもとにパトロールを実施しました。パトロール対象現場の平均出来高は、22.6%（平成20年度27.5%）で、平均請負金額は4,496万円/件（平成20年度4,965万円/件）という状況でした。

また、今年度パトロール対象の7現場のうちの1現場は、機械設備工事が空調・衛生工事に分かれて発注されていたのと、他1現場は建築工事が1,2工区と分かれていたものの、機械設備は1社に発注されており、7現場（請負数7）でパトロールを実施させていただきました。

パトロール対象項目は、16項目/現場（平成20年度18.8項目/現場）と昨年より若干少ない状況でした。7現場のうち、当日設備作業員の入場していない現場が約半数の3現場あり、又当日天候が悪かった為作業を見合わせていた状況もあり、すべての作業を確認することが出来ませんでした。その現場については現場代理人とのヒアリングにより確認させていただきました。

『産業廃棄物分別収集の実施』については、ほとんどの現場で行われ、また、鉄くず、金属類においては、リサイクルも進められており、『G30』の意識が浸透していることがうかがえました。

点検項目の評価としては、『A評価』『B評価』の比率が、97.4%（平成20年度99.5%）と高く、書類や掲示の不備も一部見受けられましたが、全体として安全管理意識が定着しているものと考えられます。



安全パトロール委員

編成班	氏 名	会 社 名
1班	宮 下 稔	日 宝 工 業 (株)
	石 田 哲 也	(株) 光 電 社
2班	小 宮 均	三 沢 電 機 (株)
3班	佐 藤 正 美	エ ル ゴ テ ッ ク (株)
4班	加 藤 久 貴	川 本 工 業 (株)

■パトロール対象項目の評価状況

		平成21年度		平成20年度	
パトロール 対 象 項 目	総数	114	100%	188	100%
	A評価	100	87.7%	169	89.9%
	B評価	11	9.7%	18	9.6%
	C評価	3	2.6%	1	0.5%
パトロール項目数/現場		16.0		18.8	

※安全パトロール対象現場数 平成21年度7現場（請負数7）
平成20年度9現場（請負数10）

■工事進捗状況の分布

	0%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	平均出来高
平成21年度	0	5	1	1	0	0	22.6%
平成20年度	0	5	2	2	1	0	27.5%

	工期内完成可能	やや遅れる	大分遅れる
平成21年度	7	0	0
平成20年度	8	0	2

■請負金額による工事規模の分布

	~2千万	~4千万	~6千万	~8千万	~10千万	~12千万	12千万~	平均請負金額
平成21年度	1	3	1	1	0	1	0	4,496万円/現場
平成20年度	1	4	1	2	2	0	0	4,965万円/現場

2. チェックリストによる項目別点検結果

①管理体制

項目	平成21年度				平成20年度			
	対象 件数	評点			対象 件数	評点		
		A	B	C		A	B	C
1. 安全管理組織表の掲示	7	3	3	1	10	10	0	0
2. 緊急連絡先一覧表の掲示	7	6	1	0	10	10	0	0
3. 適用事業報告、3・6協定届	7	5	0	2	10	9	1	0
4. 有資格者の確認（免許、修了証の写）	7	6	1	0	10	6	4	0
5. 作業員名簿、健康診断個人表	7	6	1	0	10	9	1	0
6. 安全日誌の記録、指示書の発行	7	6	1	0	10	8	2	0
7. 新規入場者の教育の実施	7	7	0	0	10	10	0	0
8. 救急薬品の備付	7	7	0	0	10	10	0	0
9. 施工体制台帳・安全衛生計画書	6	4	2	0	10	8	1	1
10. 施工体系図の表示	6	6	0	0	10	10	0	0
計	68	56	9	3	100	90	9	1
	100%	82.4%	13.2%	4.4%	100%	90.0%	9.0%	1.0%

<指摘・指導事項>

- ・適用事業報告書、3・6協定届の不備（着手前に提出していない）
→着手前に届出を行なうように指示
- ・安全管理組織表の掲示の不備（掲示していない）（事務所が無く掲示していない）
→作成して掲示するよう指示
- ・健康診断個人表のなかで、血圧が高い人がいる
→入場時に再確認し、作業内容を含めた管理を確実にするよう指示
- ・作業員名簿、安全日誌、指示書等の不備（現場に保管されていない。活用できていない。）
→現場に保管し、実際の作業に活用するよう指示
- ・安全衛生管理計画書が掲示されていない
→早急に作成し、事務所に掲示するよう指示

主な指摘事項は、以上のとおりです。一部の現場において書類の管理面での不備が見受けられましたが現場事務所を設置できない現場においても、建築業者、電気業者と協力しあい、詰所の共用や掲示物の工夫をされている現場が多数見受けられるようになり、各現場のご苦労が感じてとれ、感心させられるものがありました。

②一般事項

項目	平成21年度				平成20年度			
	対象 件数	評点			対象 件数	評点		
		A	B	C		A	B	C
1. 保護帽の着用（アゴ紐）	4	4	0	0	6	6	0	0
2. 保護具の確保、使用状況（マスク、メガネ）	3	3	0	0	5	5	0	0
3. 現場内の整理整頓、照明	7	7	0	0	10	9	1	0
4. 消火器の設置、喫煙場所の指定	6	6	0	0	10	10	0	0
計	20	20	0	0	31	30	1	0
	100%	100%	0.0%	0.0%	100%	96.8%	3.2%	0.0%

今回特にパトロール当日、作業員ゼロの現場が半数近くありましたが、作業されている現場について特に問題はありませんでした。

③墜落・転落防止

項目	平成21年度				平成20年度			
	対象 件数	評点			対象 件数	評点		
		A	B	C		A	B	C
1. ローリングタワーの設備等	3	2	1	0	4	3	1	0
2. 脚立足場の使用状況（三点支持、結束）	4	4	0	0	2	2	0	0
3. 開口部の養生は適切か	4	4	0	0	6	5	1	0
4. 脚立の単独使用（架台を使用していないか）	1	1	0	0	3	3	0	0
5. 梯子の使用状況	0	0	0	0	0	0	0	0
6. 安全帯の着用と使用状況	4	4	0	0	6	6	0	0
計	16	15	1	0	21	19	2	0
	100%	93.8%	6.2%	0.0%	100%	90.5%	9.5%	0.0%

当日、約半数の現場は作業員ゼロでした。その作業現場の中で、ローリングタワーの使用に当たり手摺を設置していない等の取り扱いの不備が有りました。

改修工事の現場が多い（約9割）ということもあり、簡易に利用できる脚立・伸び馬を使用する現場が増えてきています。また、最近はそれらを使用している際の事故事例も増えていきます。脚立・伸び馬とも使用する場合は、作業員に対し、安全な使用方法について十分な指示・指導をする必要があると考えられます。

開口部の養生でスリーブの処理をそのまま放置しておく歩行中のつまずきや脚立の脚が入り込んで脚立の転倒が考えられますが、今回につきましてはそのような現場は見受けられませんでした。

④ガス・電気溶接

項目	平成21年度				平成20年度			
	対象 件数	評点			対象 件数	評点		
		A	B	C		A	B	C
1. ボンベの転倒防止措置	1	0	1	0	0	0	0	0
2. ボンベに使用責任者名、空・充の表示	1	1	0	0	0	0	0	0
3. ホース、ゲージに損傷、ホースバンド	0	0	0	0	0	0	0	0
4. 溶接機の使用許可証、使用責任者名	0	0	0	0	0	0	0	0
5. ホルダー、キャブタイヤ等に損傷	0	0	0	0	0	0	0	0
6. 自動衝撃防止措置	0	0	0	0	0	0	0	0
計	2	1	1	0	0	0	0	0
	100%	50.0%	50.0%	0.0%	-	-	-	-

今回、使用している現場で転倒防止措置に不備がある現場がありましたので是正するよう指示いたしました。

⑤重機・クレーン

項目	平成21年度				平成20年度			
	対象 件数	評点			対象 件数	評点		
		A	B	C		A	B	C
1. 車輛系建設機械の特定自主検査証	0	0	0	0	0	0	0	0
2. クレーンの過巻防止装置等	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 立入禁止措置、監視員等の措置	0	0	0	0	0	0	0	0
4. 用途外使用時の措置	0	0	0	0	0	0	0	0
5. 玉掛用具の使用状況	0	0	0	0	0	0	0	0
6. 点検記録(日常点検記録)	0	0	0	0	0	0	0	0
7. 高所作業車の措置	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-	-	-

今回、使用している現場は、ありませんでした。

⑥電気設備

項目	平成21年度				平成20年度			
	対象 件数	評点			対象 件数	評点		
		A	B	C		A	B	C
1. 配(分)電盤の行先表示	0	0	0	0	6	4	2	0
2. 電気取扱責任者の明示	0	0	0	0	3	1	2	0
3. アースの接地状況	0	0	0	0	6	5	1	0
4. 電動工具の使用状況	0	0	0	0	5	5	0	0
計	0	0	0	0	20	15	5	0
	-	-	-	-	100%	75.0%	25.0%	0.0%

<指摘・指導事項>

特に無し

⑦その他

項目	平成21年度				平成20年度			
	対象 件数	評点			対象 件数	評点		
		A	B	C		A	B	C
1. 地山の堀削の状況	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 土止め支保工の状況	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 不安全作業、行動の有無	1	1	0	0	4	4	0	0
4. 酸欠防止対策、換気方法	1	1	0	0	3	3	0	0
5. 加工場・資材置き場の整理整頓	3	3	0	0	9	8	1	0
計	5	5	0	0	16	15	1	0
	100%	100%	0.0%	0.0%	100%	93.8%	6.2%	0.0%

<指摘・指導事項>

今回のパトロールでは実際の作業には入っていませんでしたが、ピット内での作業がどの現場でも予定されています。計画対策を十分に行い作業に取りかかるようお願いいたしました。

⑧安全対策・G30活動状況

現場を統括管理している建築業者主催の災害防止協議会にはほぼ全社が出席し、協議会での審議事項及び諸官庁からの伝達事項等、月1回の災防協を開催し関係各社へ周知を図っています。

又、事業主パトロールもほとんどの会社で実施されて会社を上げての安全活動が身につけてきました。

とかく小規模な現場では、安全が忘れられてしまうような時に会社を上げての安全活動を行う事により、現場の大小にかかわり無く、全ての作業現場に浸透していくものと思います。

『産業廃棄物分別収集』については、ほとんどの現場が、分別収集をし資源の再利用に取り組んでいます。各現場での産業廃棄物に関する意識は、昨年より更に定着しています。

改修工事(使用しながらの作業)が大多数を占めるようになり作業上の安全管理・第三者への災害防止への配慮、現場事務所のない現場での施工管理など、現場を進めていく上でより高いレベルでの確かな管理を要求される状況が年々増加しております。今後は、安全管理を効率的・効果的に行うためにも各作業員が現場に入場する際『事業主による作業員への送り出し教育』、『現場における新規入場者教育』を更に充実させ、また『現地KY』を確実に実施することが必要と感じました。

最後にあたり、横浜市御当局、(社)横浜建設業協会、(社)横浜市電設協会の皆様のご指導、ご協力を得まして天候の悪い中 無事パトロールを遂行できましたことを厚く御礼申し上げ、報告とさせていただきます。

尚、この報告書は、神奈川県空調衛生工業会のホームページに掲載されています。ご参照ください。ホームページアドレスは、<http://www.shinkuei.or.jp/>

◎ 平成21年度 第39回横浜市合同安全 パトロールに参加して

前安全委員
日宝工業(株) 宮下 稔

平成21年11月11日、横浜市まちづくり調整局、(社)横浜建設業協会、(社)横浜市電設協会と当空調衛生工業会による合同安全パトロールが実施されました。

本年度39回を迎えましたこのパトロールに第1班の要員として参加させていただきました。

私自身、平成16年に参加して以来5年ぶりにこのパトロールに参加させていただきましたが、現場の物件数については年々減少傾向にあるとのことで、今年は昨年より更に少なく8現場（当工業会対象現場は7現場）4班体制に縮小となりました。また工事内容、工事規模ともに、既設建物の増築、改修、耐震補強関連工事等が大半を占めるようになり、小規模、短期間の現場の割合が多くなってきています。

また、仮設事務所・資材置場等のスペースを確保出来ない現場も見受けられるようになり、今後の現場管理の新たな苦勞の一面をうかがい取れる現場が増えてまいりました。現場内での業者間の仮設物等の共有も増え、その事により現場内での業者間の一体感も生まれ、以前より作業がスムーズに進むという状況も多く見うけ



られるようになってきました。更に、居ながら（施設を使用しながら）の現場（学校、住宅等）が多くなり、第三者災害により一層の注意を払わなければならない現場が多くなってきました。したがって安全管理面においては、第三者（近隣等含め）への安全、環境に対する配慮が今まで以上に重要となってきております。

一般的に不安全行動が災害要因の90%近くを占めているといわれるように、作業員一人一人のモラルを問われる現場が増えてきていると感じられ、現場入場時の『送り出し教育』、『新規入場者教育』の重要性を再認識させられました。

今後とも災害防止に労を惜しむことなく、安全活動に寄与していきたいと思っております。

最後に業務多忙の中、また天候の悪い中、パトロールに御同行していただいた、小堀安全副委員長に厚く御礼申し上げます。



会員消息

《賛助会員》

◎社名・代表者変更

- ・ブリヂストン化工品 東日本株式会社
南関東営業部 横浜営業所
(変更月 平成22年1月)

社名変更

- 新 ブリヂストン化工品東日本株式会社
南関東営業部 横浜営業所
- 旧 株式会社ブリヂストンIBK 横浜営業所

代表者変更

- 新 所長 清水 康雄
- 旧 所長 山口 武史

※お詫びと訂正

会員名簿（平成21年11月発行）に誤りがありました。ここに改めてお詫び申し上げ、訂正させていただきます。

《正会員》

- P11 正 中央設備エンジニアリング(株)
- 誤 中央設備エンジニアリング

《賛助会員》

- P19 荏原テクノサーブ株式会社 神奈川支店
- 正 電話 (045) 472-0611
- 誤 電話 (045) 472-0061

編集後記

会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。新たな年の幕が開き、また三が日は好天に恵まれ皆様方には希望に胸を膨らませていることと思われまます。

さて昨年は一昨年のリーマンショック以降の不況、年越し派遣村の問題等明るい話あまり聞こえない中でのスタートとなりました。その状況も打破されず不安になる出来事が多い中、昨年8月に衆議院の解散総選挙が行われ、新語・流行語大賞になったいわゆる「政権交代」となりました。この結果に日本中は一喜一憂し、私たちの生活においていいか？悪いか？はすぐに答えはできませんが、なによりこの不況から早く脱出することを願うばかりです。

明るい話に目を向けると、今年はカナダでバンクーバーオリンピックが行われます。前は荒川静香さんの金メダル1個に終わっているだけに、今回は不景気を吹っ飛ばすくらいのメダルラッシュを期待しつつ、また寝不足の日々が続くそうです。

最後に2010年という年が景気の回復と共に、会員各位の皆様にとって素晴らしい1年となりますように祈念いたしております。
(K. F記)

Marketing
Planning
Creative
Printing

 株式会社 D-サイト

〒221-0013 横浜市神奈川区新子安1丁目35番10号
TEL.045-439-3433 (代) 担当: 矢向 FAX.045-402-8462
TEL.045-439-3451 (制作部)

bestcommunication: マーケティング・企画・制作・印刷

今までもこれからも、水と空気で、未来を創る。 **TERAL**

**コンパクト、施工性は
そのままに性能がアップしました。**



直結加圧形ポンプユニット

MC4



テラル株式会社 www.teral.net

東京支社 / 〒112-0004 東京都文京区後楽2丁目3-27 テラル後楽ビル5階
TEL.03-3818-7800 FAX.03-3818-5031
横浜第1営業所 / 〒221-0031 横浜市神奈川区新浦島町1丁目1-25 (テクノウェイブ100 10F)
TEL.045-450-5351 FAX.045-450-5352
横浜第2営業所 / 〒221-0031 横浜市神奈川区新浦島町1丁目1-25 (テクノウェイブ100 10F)
TEL.045-450-5351 FAX.045-450-5352

東京・大阪など全国10支店、47営業所

新しい、
時代のために

kanzai

管工機材・住宅・ビル設備機器・プラント機材・国内外総合会社

日本管杖センター株式会社

本社：〒104-8401 東京都中央区八丁堀2-23-1 エンパイアビル TEL.03(5541)5111(大代表) FAX.03-5541-5115
配送センター：〒136-0082 東京都江東区新木場3-2-4 TEL.03(3522)1261(代表) FAX.03-3522-1265

TOTO

衛生陶器並附属金具
各種水栓金具
洗面化粧台・浴槽
給湯機
受水槽・高架水槽
システムキッチン設計施工
ユニットバスルーム設計施工

創業明治29年・TOTO(株)特約店

丹羽窯業株式会社

本社・横浜営業所
横浜市中区日ノ出町1-103 045(241)5321
東京営業所
東京都台東区台東1-27-7 03(3822)0267
目黒営業所
東京都目黒区南3-15-4 03(3718)4135
湘南営業所
藤沢市善行6-19-1 0466(82)6120
さがみ営業所
相模原市上溝2370-6 042(764)7177

azbil
グループ

創業1906年 山武の進化
人を中心としたオートメーション

山武は「計測と制御」の技術をもとに、建物や環境にかかわる省エネルギー・省力・快適・安全・利便性を追求し、企画・開発から販売・サービスまでの一貫体制を確立。建物経営をバックアップする最適なソリューションをご提供しています。

建物から社会へ、地球環境へ



株式会社 **山武**
ビルシステムカンパニー 横浜支店

〒220-8144 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー
TEL.045-224-1550 <http://jp.azbil.com>

azbilは山武グループのシンボルマークです。

会 報

第106号 平成22年1月31日

社団法人 **神奈川県空調衛生工業会**

横浜市中区海岸通4丁目18番地

TEL 045 (201) 9536 (代)

U R L:<http://www.shinkuei.or.jp>

E-mail:info@shinkuei.or.jp

情報委員会

印刷 株式会社 D-サイト